

<研究主題>

すすんで考え、学び合い、思考を深める児童の育成
～国語科の話す・聞く活動を中心として～

第6学年 国語科学習指導案

1 単元名

単元名「立場を明確にして主張し合い、考えを広げる討論をしよう」【話す・聞く】

教材名「学級討論会をしよう」

コラム「伝えにくいことを伝える」

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- ・互いの立場や意図をはっきりさせながら、疑問点を整理して自分の意見を言ったり、質問したりして、討論することができる。
- ・討論会の話題に沿って、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。
- ・討論会における言葉の使い方などについて関心をもつことができる。

(2) 評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す聞く 能力	書く 能力	読む能 力	言語についての 知識・理解・技能
①討論会の形式や話題に興味をもち、積極的に参加しようとしている。	①自分の主張・根拠と比べながら、相手の話を聞いている。 ②話題に対する肯定・否定両方の立場で自分の考え方、感じ方をもっている。 ③会議の順序や進め方の調整、対立の調整などが必要なことを理解し、話し合っている。			①意見や質問のよりよい述べ方や、言葉の選び方に関心をもっている。

3 単元について

(1) 児童の実態

①アンケートによる実態

学級で、国語に関するアンケートを行った。

<アンケート結果>

(32人回答)

		はい	どちらかという はい	どちらかという いいえ	いいえ
1	国語の学習は好きですか？	12	7	10	3
2	班の友達に自分の意見や考えを話すことは好きですか？	11	6	10	5
3	みんなの前で自分の意見や考えを話すことは好きですか？	8	6	9	9
4	友達と話し合いながら学習することは好きですか？	16	9	4	3
5	聞き手にわかりやすいように、考えて発言していますか？	11	13	6	1
6	話している人を見て、うなずきながら聞いていますか？	13	14	4	1
7	話している人が何を伝えたいか、考えながら聞いていますか？	13	14	4	1
8	国語の学習で、友達の発表を聞いて自分とはちがう考え方を知ったり、きいたことを踏まえて考え直したりすることがありますか？	15	9	5	3

全体の6割の児童が、国語の学習に対して前向きに取り組んでいることがわかる。

問4の項目について友達と話し合いながら学習することに多くの児童が意欲的だが、話すことが「楽しい」という感覚の児童が半数であると予想する。問8の項目について7割以上の児童が自分と友達の考えを比べたり、自分の意見を考え直したりすることを意識して学習していることがわかる。

友達やみんなの前で話すことが苦手な児童は5割おり、「緊張する」「恥ずかしい」という理由があがる。中には、「何を話せばよいかわからない」や「話している途中で反論してくる人がいるから」という理由も上がった。聞き方の質問では、「話している人を見て、うなずきながら聞くことができる」児童は、9割以上の児童ができていると回答しているが、実際は、数名の児童のみができていると感じる。

討論会ではある程度話すことが決まっているが、説得力のある発言をするための工夫を考えさせ、グループで協力して進められるようにしたい。相手が何を伝えようとしているかを捉えることができる聞き方を身に付けさせ、自信をもって国語の学習に取り組めるようにしたい。

②日常の実態

「話すこと」

授業中に挙手をして発言できる児童は、全体の3割程度である。考えをもっているのに発言しない児童がほとんどで、名前を呼んで発言を求めると、答えられる児童は全体の7割に上る。グループなど少人数で話すことは、すすんで話したり、思ったことを発言したりできるが話型を提示して話し合う機会がこれまでに少なかったことから、決められた言葉等を使って話し合うことに慣れていない。討論会での主張をどのような言葉でどのように話せば説得力をもたせることができるかを考えさせたい。また、質問に対しての答えをその場でグループで考え、個人の意見ではない答えを発言する経験をさせる。

「聞くこと」

相手の意見を聞こうとする児童は多い。自分と違う考えや意見を聞くと「なるほど」と思った経験のある児童も多く、意欲的な児童がいる一方で、全体やグループで話していることを聞き取れずにそのまま学習を進めてしまう児童もいる。相手の発言をもとに自分の考えを話すことができる児童は少ない。相手が何を伝えたいかを理解して聞くことができる児童は3割程度である。討論会で必要なことをメモをとりながら聞き取り、肯定グループと否定グループの主張の根拠を理解する力を伸ばしていきたい。また、互いの立場の違いは何かを考えながら聞く力を伸ばしたい。

(2) 単元設定の理由

小学校の「話し合い」の能力における完成段階として、一つの問題を肯定・否定の両面から検討し、より多くの人を納得させるための話し合いを計画的に進める能力を育てたい。同時に討論の流れを聞く立場にも焦点を当て、聞き取りの観点をもち、議論を評価しながら聞く態度と能力の育成を目指す。

中心となる言語活動は、主張→尋問→結論という流れを基本とする反駁型（入りまじる。反論する。）ディベート形式の討論である。また、本単元では討論を聞くグループを設定し、観点をもって話し合いの流れを把握し評価する活動をも並行させている。話し合う活動で学ぶ主体は話し合いの当事者だけではなく、むしろ、話し合いを観察し、その論点や争点を見出す聞き手の育成が重要である。今後、児童が成長し、社会参加していく上で、決して欠くことのできない重要な力となる。

(3) 教材文の分析

本単元の討論は立場の違いがはっきりしているため、攻撃的な議論を生みやすい。そのような場を経験することで、感情を害するような言動を慎み、相手の言葉を落ち着いて把握しようとする言葉遣い、態度を育てるように配慮したい。

話題は、児童の興味・関心のある内容、話し合う意味のある内容を選ぶことが大切である。生活の改善などをめざす話題は、話し合うことによって、実際に児童の生活がよりよく変わっていく実感ももてるだろう。

コラム「伝えにくいことを伝える」は、言いにくいことを言わなければならない場面は、児童の日常生活に多く見られる、そのような場面で自他ともに感情的にならずに互いの立場や考えを理解し合い、必要に応じて妥協したり合意したりする言葉の使い手を育てるためには、適切なトレーニングが必要である。そのような考えから、本コラムを設けている。

4 目指す児童像に迫るための手立て

【高学年分科会の目指す児童像】

互いの立場や意図を明確にしなが、自分の考えを広めたり深めたりして考えをまとめることができる子

_____（下線部）は「話す・聞く」の手立て

(1) 授業展開・形態の工夫

- ・5年までに学習した話す・聞く力を確かめることができるように、教科書の「いつも気をつけよう」や単元の終わりに書かれている「たいせつ」を掲示し、想起しやすいようにする。
- ・デジタル教科書の動画を活用し、討論会のイメージをもたせる。
- ・決められた時間内に発言することができるように、ストップウォッチを使いながら発言の練習をさせる。
- ・討論会の様子をビデオに記録し、まとめの話し合いの際に振り返られるようにする。
- ・「伝えにくいことを伝える」では、役割演技を取り入れて相手の気持ちを考えられるようにする。

(2) 学習活動の工夫

- ・デジタル教科書の討論会の動画を活用し、適切なところで一時停止をしたり、繰り返したりして、内容を理解できているかを確認し、メモがとれるようにする。
- ・「聞くこと」の重要性をもたせるために、動画を再生しながら討論に参加しているつもりで、聞き方の練習を行う。
- ・肯定と否定の両方の立場で考えをもつことができるように、話題例を提示し、さらに児童の意見を基にし、学級の実態に応じた話題にする。
- ・思考ツールのクラゲチャートを活用し、グループの主張の根拠を明確化する。
- ・「見るグループ」は肯定・否定の主張や話を聞いて、説得力があると感じたり納得できる内容であったりするときスクリーンに表示できるようにする。

(3) ICT 機器の活用

- ・児童用タブレットのデジタル教科書を活用して、討論会の動画を見て参考にする。
- ・グループの主張に説得力をもたせるために、タブレットで画像やデータを提示する。
- ・「見るグループ」は肯定・否定の主張や話を聞いて、説得力があると感じたり納得できる内容であったりするときは、そちらのグループに賛成であることをタブレットを活用して表示できるようにする。

5 指導計画

次	時間	各時間の目標	主な学習活動	●指導上の留意点 ◇評価基準（評価方法）
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 討論会のねらいや準備について知り、学習の見通しをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習課題を確かめ、学習計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> 立場を明確にして主張し合い、考えを広げる討論をしよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習の見通しをもたせるために、どの学習でどのような力を付けていくかを示す。 ◇ 討論会の進め方や話題に興味をもち、積極的に参加しようとしている。【関①】（ノート・発言）
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動画を見て、討論会の進め方を理解し、主張の仕方や質問の仕方などを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 討論会の進め方と準備するものを知る。 ・ 討論会の進め方や、説得力のある意見の述べ方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画のモデルのよさを認め、まねしたいところを共通理解できるようにする。 ◇ 意見や質問のよりよい述べ方や言葉の選び方に関心をもっている。【言①】（ノート・発言）
二	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 討論会を聞くときに大切なことや気をつけたいことを理解することができる。 ・ 討論会のねらいを理解した上で、話題を決めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主張」「質疑応答」「最後の主張」を聞き、キーワードを正しく捉えたり、意見をまとめたりする練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 主張に関心が向くが、聞くことの重要性を確認する。 ● 話題は学級・児童の実態に応じたもので、肯定・否定のどちらの立場も五角の説得材料が考えられるを取り上げる。 ◇ 話題に対する肯定・否定両方の立場で自分の考え方をもっている。【話・聞②】（観察・ノート）
	4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 討論の話題に対して自分の考えをもち、学級討論会に向けて準備することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話題に対して、肯定・否定両方の立場で自分の考えをもつ。 ・ グループをつくって、役割を決める。 ・ グループごとに相談して討論会の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見をまとめるときには、資料や情報を収集し、幅広く取材活動を行うように助言する。 ● それぞれの役割と討論会の流れのなかでの動きを確認し、意欲を高められるようにする。 ◇ 自分の主張・根拠と比べながら相手の話を聞いている。【話・聞①】（ノート） ◇ 会議の順序や進め方の調整、対

				立の調整などが必要なことを理解し、話し合っている。【話・聞③】（観察・ノート）
三	6 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 討論会の形式に沿って、計画的に話し合うことができる。 ・ 相手の主張を聞き、自分の考えと比べながら発言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級討論会を行う。 ・ 自分の役割を果たせたか、グループとしてうまく討論することができるかを振り返る。見ていた人たちは、討論会を見て気付いたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 聞くときに大切な観点を確かめ、それぞれの主張を正しく聞き取ること、また、納得したり疑問に思ったりしたところをメモさせ、自分の考えをもちながら聞くように伝える。 ● うまくいかなかった点については、その理由と改善策を考えさせ、次につなげるようにする。 ● 全体での話し合いで出たことを、「たいせつ」と結び付け、まとめをする。 <p>◇ 自分の主張・根拠と比べながら相手の話を聞いている。【話・聞①】（観察・ワークシート）</p> <p>◇ 討論会の意義と、よりよい討論の聞き方や主張の仕方を理解している。【言①】（ノート）</p>
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 討論会の形式に沿って、計画的に話し合うことができる。 ・ 討論会の意義と、よりよい討論の聞き方や主張の仕方を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級討論会を行う。 ・ 討論会を振り返り、グループで成果を話し合い、発表する。 	<p>◇ 自分の主張・根拠と比べながら相手の話を聞いている。【話・聞①】（観察・ワークシート）</p> <p>◇ 討論会の意義と、よりよい討論の聞き方や主張の仕方を理解している。【言①】（ノート）</p>
四	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「伝えにくいことを伝える」を読み、どのような伝え方をすれば相手に受け止めてもらえるかについて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「伝えにくいなあ」と思うことを伝えた経験について話し合う。 ・ 教材文を読み、互いにやり取りをして言われた相手の受け止め方の違いを考える。 ・ 人に受け入れてもらいやすい注意の仕方や、意見の伝え方を考える。 ・ 学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 役割演技をさせ、3パターンの言い方をされて、「伝えたいことは伝わったか」「相手はどのような気持ちになったか」という2点について考えさせる。 ● 伝えにくいことを伝えるときには、相手に正確に伝わり、冷静に受け止めてもらえるように、言葉や表現（表情・声の調子）を選ぶ必要があることを押さえる。 <p>◇ 意見や質問のよりよい述べ方や、言葉の選び方に関心をもっている。【言①】（ノート・発言）</p>

6 本時の指導（6／8）

(1) ねらい

- ・ 討論会の形式に沿って、計画的に話し合うことができる。
- ・ 相手の主張を聞き、自分の考えと比べながら発言することができる。

(2) 展開

過程	主な学習活動	●指導上の留意点	◇評価内容と方法
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">学級討論会をしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 討論会の流れとポイントを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 聞くグループや見るグループには、自分だったらどんな質問をするかを考えながら聞くように伝える。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループに分かれて、1回目の討論会を行う。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">記</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">司</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">時</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">肯定グループ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">否定グループ</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 5px;">見る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 5px;">聞く</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 5px;">見る</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目の討論会を振り返る。 ・ 見るグループは気付いたことを発表する。 ・ 2回目の討論会を行う。 ・ 討論会を終え、自分の役割が果たせたか、グループとしてうまく討論することができたかを振り返る。見ていた人たちは、討論会を見て気付いたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 討論会の様子をビデオに記録する。 ● グループでの話し合いの後に、全体での話し合いをもち、よりよい討論会を行うための課題を共有する。 ● よくできたところと討論会がよりよくなる点を伝える。 ● 見るグループに直後の討論会に何に気を付けて臨めばよいかを考えさせる。 	<p>◇自分の主張・根拠と比べながら相手の話を聞いている。【話・聞①】（観察・ワークシート）</p> <p>◇討論会の意義と、よりよい討論の聞き方や主張の仕方を理解している。 【言①】（ワークシート）</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 分かったことや考えたことを発表する。 	

資料1
板書計画

<p>◎今日の学習の振り返り</p> <p>・</p> <p>・</p>	<p>◎討論会の流れ</p> <ol style="list-style-type: none">① 初めの主張② 相談タイム③ 質問タイム④ 相談タイム⑤ 最後の主張⑥ 相談タイム⑦ まとめ	<p>◎討論会</p> <p>討論会の約束</p> <ul style="list-style-type: none">・ 最後まで聞く。・ 感情的にならない・ 言い負かそうとしない・ メモする以外は話している人を見る。	<p>5 / 学級討論会をしよう</p> <p>◎学級討論会をする。</p>
--------------------------------------	--	---	--

資料2
クラゲチャートについて

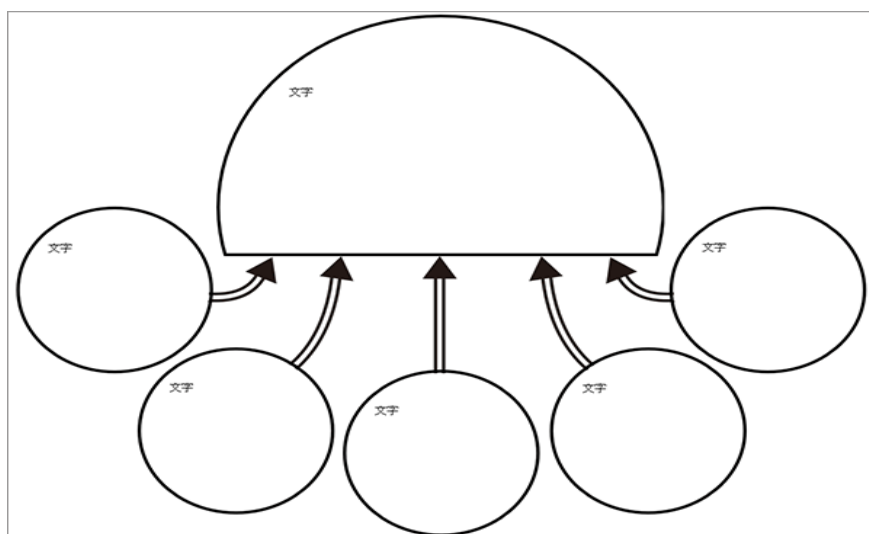
情報を可視化し、思考を方向付けるときに使われる、思考ツールの一つである。

主張の論拠や根拠を見つけ「理由づける」ときに使う。頭の部分に主張を書き込み、なぜそれが言えるのか、文章、資料などから探して足の部分に記入する。

自分自身が対象についてどのような価値を感じているかを明らかにして、その理由を逆算的に探すようなときにも使える。頭の部分には、対象に対してどのように感じているかが書かれ、足の部分には、そのような価値観をもつことにつながった経験などが書き込まれる。

(『「思考ツール」の授業』 小学館 より)

本授業では、第4、5時の主張の根拠を「理由づける」ために使用した。



資料3

板書の変更

5 / 立場を明確にして主張し合い、
考えを広げる討論をしよう

◎学級討論会をしよう

よい話し方

「説得力のある話し方をしよう」

よい聞き方

「考えながら聞こう」

◎討論会

スクリーン

*見るグループの反応が色で表示される。

肯定グループに賛同…青

否定グループに賛同…赤

どちらともいえない…緑